

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第10回 千種生活圏の拠点づくり検討委員会	
開 催 日 時	平成30年5月9日（水）19時00分～21時30分	
開 催 場 所	エーガイヤちくさ 千種保健福祉センター 会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	船曳順市	
委 員 氏 名	（出席者） 船曳順市、亀井欣也、藤原 隆、森井俊二、鳥居 薫、 波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本己世始、鳥羽敏美、 清水一女、奥田慎一、磯崎伸彦、井岡陽子、杉本千里	（欠席者）
事 務 局 氏 名	宋粟市 千種市民局：津村市民局長、清水副局長、岸本副課長、藤原専門員 企画総務部：坂根部長、水口次長 地域創生課：西嶋課長、藤原副課長、前田係長、朱山主査	
傍 聴 人 数	1名	
会議の公開・非公開の 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1 開 会 2 あいさつ 3 報告・協議事項 （1）前回グループ討議内容の整理 （2）拠点施設の役割および機能に関する考え方 （3）計画素案について 4 その他 5 閉会	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
清水副局長	1 開 会
委員長	2 あいさつ 皆さんお疲れのところお集まりいただきありがとうございます。特に農家の方は田植えの時期で、大変お疲れかと思いますが、よろしくお願ひします。 今年は、クリンソウが例年より早く見頃を迎えそうです。クリンソウは自然に生えたもので、自然に生えたものはいつかなくなるとお願ひしています。今日、毎年転々と生える場所が変わるクリンソウを歩いて見て回りながら、いつまで続くかなとお願ひしました。 さて、この検討委員会は今日で10回目となりますので、そろそろ結論を出していきたいとお願ひしています。今回、事務局からこれまでの協議を踏まえた計画素案を持ってきていただいているので、それを説明していただき、この会を進めさせていただきたいとお願ひしますのでよろしくお願ひします。
委員長	3 報告・協議事項 (1) 前回グループ討議内容の整理 ・ 前回のグループ討議内容の整理について、事務局より説明をお願いします。
事務局	➤ 前回のグループ討議内容の整理について資料に基づき説明
委員長	(2) 拠点施設の役割および機能に関する考え方 ・ 上記と関係する内容なので、引き続き事務局より説明をお願いします。
事務局	➤ 前回意見が出された拠点施設の役割および機能の案について、それぞれの案の効果や課題の検討結果を資料に基づき説明
委員長	(3) 計画素案について ・ 次も関連する内容になるので、引き続き事務局より説明をお願いします。質問はこの説明が終わってからまとめてお聞ひします。
事務局	➤ これまでの協議を集約した「千種生活圏の拠点づくりの考え方」計画素案について説明
委員長	・ これまでの説明で質問はありますか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 今日示していただいた資料は、これまでの検討委員会で私たちが出した意見を上手く取りまとめていただいていると思う。 ただ、これまでの検討委員会での協議の期間が十分であるのか、ばたばたと協議が進んで、結局、検討委員会は何だったのかとなってしまうのではないかと懸念している。 今のスケジュールでは、平成 32 年度に建設工事が完了し、平成 33 年度から供用開始というスケジュールになっているが、これは合併特例債の期限に合わせたスケジュールである。この度、合併特例債の期限が 5 年延長になることが決定したので、スケジュールを組み直してはどうか。 検討委員会の責任転換ではないが、千種町民全体に計画について十分理解していただき、意見を吸い上げて計画を作っていくべきではないか。
坂根部長	<ul style="list-style-type: none"> 今回お示しした計画素案は、これまで 9 回の検討委員会を重ねて、皆さんからいただいた意見を基に作成している。検討委員会の当初は千種のまちづくりを今後どうしていくのかという議論から始めていただいて、その後、それぞれの施設に持たせる機能について議論をしていただいた。 その中で、今回お示ししている計画素案では、これまでの意見を踏まえ、将来のことを考えて窓口機能と保健福祉の機能をエーガイヤちくさに集約する案を提案させていただいているので、そのことについて意見をいただければと思う。 今回の計画素案が完成形ではなく、これからも委員の皆さんにさらに意見をいただきながら作り上げていきたい。 そして、委員の皆さんと作り上げた計画素案について、タウンミーティングで市民の皆さんにお示しするので、その効果的な方法について考えていきたい。市民の皆さんへの周知の方法についても委員の皆さんから意見いただければと思う。 合併特例債の期間延長に伴うスケジュールの見直しについては、結果として供用開始が遅れてしまうことはあるかもしれないが、今の時点で、当初の目標期限を延期してしまうと間延びしてしまうことが懸念されるので、今の目標をもって進めたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールの見直しについて、闇雲に期間を延ばしてほしいということではなく、タウンミーティングをして意見を吸い上げるには、今のスケジュールでは期間が短いと考えているので、市民の皆さんに十分周知するための期間を再度検討していただいて、スケジュールを見直してほしいということである。

坂根部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ タウンミーティングで市民の皆さんの意見をお聞きすることはもともと予定しており、今年のおちごろからさせていただきます。そのタウンミーティングの結果、市民の皆さんへの周知が不十分であるという議論になるようであれば、その時は期限延長を検討させていただくが、今の時点で、合併特例債の期限延長に伴って、目標としている期限を延長することは考えておりません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ この検討委員会は計画を早く作り上げるのが目的ではなく、いいものを作り上げることが目的だと思う。そのためには、市民の皆さんの意見を広く聞くことが必要であると思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の気持ちは分かるが、物事（計画）をまとめるには、多ければまとまるというものではない。やはり、選ばれた委員で責任をもってまとめていくことが必要である。多くの意見を聞くことは重要であるが、全ての意見を取り入れた計画を作り上げることは不可能であり、多くの意見を聞くほど取りまとめが難しくなってしまう。「三人寄れば文殊の知恵」ということわざがあるが、この検討委員会に選ばれた委員で意見を出し合えば、大体の意見は集約できると思う。この委員会で意見を取りまとめて、最終的に市で計画を作成していただければいいと思う。 また、期間を延ばせばいいものができるということではないと思う。期間を区切って、その時にやるべきことを期限内にするという目標をもって進めていくべきだと思う。 多くの意見を聞くことは重要なので、委員の皆さんには、それぞれに市民の皆さんの意見を聞いて、この検討委員会で発言していただきたい。 タウンミーティングにおいては、市民の皆さんに検討委員会で出た意見についても周知してほしい。 家を建てることを例にしても、入念に計画して建てた家でも完成したら100%満足できることはない。今回の計画もみんなが100%満足できるというのは不可能である。その中で、できる限り満足できるものを作り上げるようにしたい。
坂根部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長が言われるように、限られた中で、頂いた意見を全て計画に取り入れていくことは難しいと考えている。その中で、できる限り期待に沿うものを作り上げるにはどうしたらいいのかということで、この検討委員会の中で計画の素案を作り上げていただきたい。 一宮町の事例では、計画だけではイメージし難いということもあり、計画素案を委員会で取りまとめてから、拠点施設のイメージを絵にしたものを

	<p>作らせていただき、そのうえで市民の方から意見をいただいた。そして、修正を加えながら、進めている。</p> <p>千種町においても、絵が出来上がった段階で、例えば子育て世代の方々などに意見をいただきながら、修正を加えて作り上げていきたいと考えているので、この検討委員会で計画の素案が取りまとまった段階で次のステップに進むことをご理解いただきたい。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 坂根部長が言われるように、言葉だけではなかなか理解できないと思う。絵があれば、理解しやすく、いろんな意見が出てくるかもしれない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで協議してきた内容で、今回提案いただいているのは分かるが、本当にこれでいいのかという不安があるので、市民の方の意見を聞きたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気持ちは分かるが、これまでの間にも市民の方に意見を求める場面はあったが、なかなか積極的な意見が出てきていないのも事実である。やはり、この検討委員会の委員に任命されている以上、その責任をもって決めていただきたい。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今提案いただいているような、具体的な内容が出てきたのはここ数回の検討委員会でのことである。まだ、議論も深まっていないので、今提案いただいている4案で決めていくことはできないのではないかと。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回示されている4案は、これまでの検討委員会での委員の皆さんの意見をまとめて、事務局により具体化されたものである。決してこの4案の中で決めてほしいということではなく、これを基にさらに議論をしていくための資料だと理解いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見がまとまらないと思うので、市民の方にこの計画についてどう思うかアンケートを取ってはどうか。実際、市民の方が拠点づくりにどれくらい意見を持っているのかアンケートの反響で分かるし、4案についての投票などのアンケートにすれば、今後、検討員会でさらに議論していくうえで、参考になると思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの実施については可能か。
坂根部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可能である。アンケートの手法等については、市民局と連携して検討させていただき、委員長、副委員長と相談のうえで実施することです承いただく

	<p>ければと思う。</p>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の方の意見を聞く前に、今回示していただいた4案について、検討委員会でもう少し議論を深める方がいいのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の検討委員会で今回の4案について議論をして、どこまでまとめられるか分からないが、検討委員会としてまとめられるところまで提案をまとめたい。アンケートを取ってはどうか。
坂根部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市としても、今回お示しした案について、この検討委員会で議論を深めていただきたい。そのうえで、次のステップに進む方法を検討いただいて、アンケートが必要であるということであれば、アンケートを取らせていただく。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートをとるとなると、本年6月に提案を取りまとめるという期限は難しいと思うが、期限が伸びてもいいのか。
坂根部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1から2カ月程度伸びることは可能であると考えている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の資料を熟読していただいたら、内容を理解してもらえと思う。理解していただいたうえで、それぞれの機能をどこに持っていくかをこの委員会で議論していただきたい。
坂根部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の委員会で、今回事務局よりお示しした案について皆さんで議論をしていただき、提案をまとめていただいたうえで、市民の方に提案に賛同いただけるかというようなアンケートをとるということではいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 了承
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の委員会で、もう少し4案について分かりやすくしていただいた資料を提示していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 了承

副委員長	<p>4 その他</p> <p>➤ 次回委員会 日時 平成30年6月6日(水) 19時から 会場 エーガイヤちくさ 会議室</p> <p>5 閉会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 次回、具体的な議論ができるようにご協力をお願いします。お疲れ様でした。
------	---